

---

# YUIが悪と闘ったら 16

pokemomtyan

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

YUIが悪と闘ったら16

### 【コード】

N5032T

### 【作者名】

pokemomtayan

### 【あらすじ】

YUIは伊藤やジャックと斬り合っはめになる。

もしもYUIが悪と闘ったら(前書き)

感想をお願いします。

## もしもYUIが悪と闘ったら

菅直人は伊藤英明の剣によって斬られた。YUI（あゝあ。また、斬られたね・・・）神崎昂（本当ですね。どうせ、同人誌的に助かるから良いんだけどね。）菅（オイ！お前等！俺様は斬られて血だらけなんだぞ何か労いの言葉をくれよ。う・・・痛い菅叫！）伊藤英明（つまらない物を俺のサーベルで斬った。YUI！今度はお前を斬る。喰らえ！天体観測突き！）サーベルをの素早い突きが、YUIを襲った。YUI（く・ガードだけでもきつい・・・だが、負けん。喰らえ！again返し！）YUIはツバメ返しの剣技で伊藤を上下に斬ろうとしたが、伊藤はバツク転をして避けた。伊藤（危ねえ・俺は日頃から鍛えているから避けられたものの、常人ではあっさり斬られているぞ。頬をかすただけで助かったが。）YUI（身体能力は半端無いぐらい鍛えてるわね。）伊藤（次こそ斬る。）YUI（あの、技で斬るか。）両者（うおー！）両者の剣がぶつかりあったが、間にもう一つ剣が割り込んできた。伊藤&YUI（な？）ジャックスパロウ（悪いなお前達、俺もこの決闘にまぜてもらおうぜ笑。）YUI（貴方は関係ないわ怒。）伊藤（ひょうひょうしい奴だな。お前は傍観者だろ怒・・・）剣がギリギリ音を立てた。ジャック（いやゝ諸君！それが大いに関係してるんだ。俺は生命の泉を目指していたが、船が難破した。フロリダまで行くのは面倒だ。そこで・・・適当なお宝がこの宮殿にはあるし、ここ等でお前等を斬り捨てる。お分かり）YUI（お前、最低だな。）伊藤（怒ったぞ。お前等2人とも俺が斬る！）3人は離れて、それぞれが斬り合いを始めた。パイレーツオブカリビ안의歌が流れた。YUI（喰らえ！チェリー突き！）伊藤（クソ・・・腕を刺された。だが負けん！ジョージア斬り！）ジャック（おっと！危ない！）ジャックは飛び跳ねて剣技を交わした。YUI（すばしっこいな。）ジャック（さつき先住民の奴等から盗んだ物を此処で使うか・・・喰らえ！アイ

ラブジャパニーズ共。スパイス目くらまし！) ジャックは香辛料を YUI と伊藤の目にかけて。YUI (うわ！目が見えない。) 伊藤 (見聞色の覇気があれば普通は見えるものを・・・とっさに使いやがって。へっくジョン！鼻も・・・スパロウ・・・お前も武装色の覇氣使いか。) ジャック(そうだ。一応、覇氣使いだぞ俺。2人共隙だらけだ。死ね！親日斬り！) 親日のジャックは、日本刀のような波を斬る斬り方で2人を腹から斬ろうとした。YUI (見えた！You r Heaven 斬り！) ジャック(おわ！縦に斬りつけてきやがった。だが、俺はそのぐらいでは斬れんぞ笑。) 伊藤(隙あり！救命病棟24時突き！) ジャック(おわつと！技名が長いぞ！何とか避けたがな。) YUI (斬っても避けられる・・・フラフラして酔っぱらいのような歩き方は、相手の攻撃を避ける為の見聞色の覇氣か！) ジャック(うゝん。良く分からんが、俺は小さい頃は家庭が荒れていて、父親に殴られそうになるたびにヨロヨロで避けていたんだ。覇氣なのか？これ？) 伊藤(重いぞその話！) 伊藤は剣をジャックに向けた。3人(うお！怒！) カキン、キン、刃がぶつかり合う音が響き合い、走りながら斬りあった。ケイト(ちよつと止めて！3人共！子供じゃあるまいし、紳士じゃないわ叫！) ジャック(ああん？そんなのお友達の、YUMIちゃんって子から止めるや！) YUI (YUI じゃ怒！) ジャックの頬を斬りつけた。ジャック(うわあ！血が・・・) YUI (喰らえ・・・) 伊藤(隙ありだ！海猿蹴り！) YUI の腹を蹴り、YUI は弾き飛ばされた。YUI (くそ・・・痛い。) 伊藤(ジャック！貴様が死ぬ！) ジャック(残念砂かけ！) 伊藤は目に砂を浴びた。伊藤(また、目が・・・お前は卑怯すぎるぞ怒！) YUI (伊藤死ぬ！喰らえ！GLORIA 斬り！) 白い覇氣に覆われた剣が伊藤の右肩を斬った。伊藤(痛え・・・血もでるし叫！) YUI (覚悟！) ジャック(2人共！この黄金の人型のインゴットは何でしょう) ジャックは宮殿の中央で見つけた、黄金で出来た像を見せた。伊藤(しまった！) YUI (あれだけの黄金、今度の香港ツアーで現金に代えたら・・・) YUI の目は¥になつて

いた。ジャック（黄金の像だ）、黄金の像だ）ジャックは踊り跳ねた。YUI（ジャック！貴様を斬る！）伊藤（一先ず休戦だYUI一緒に奴を斬るぞ！）両者（うおー！）ジャック（やばいかも・ジャックは悲鳴を上げて逃げながら、刀を交えて3人は斬りあつた。ケイト（ちよつと怒！もう知らない。）ケイトはふてくされた。そこに、堂本剛と葉加瀬太郎が逃げながら来た。堂本（はあ。ケイト屋！俺や！）ケイト（堂本さん？何を慌ててるの？）堂本（その前に・あいつ等は何を斬りあつてるねん叫！）ケイト（才女の私ですら分らないのよ泣。）葉加瀬（ヨホホホホ。何か楽しそうですね 私も混ぜてもらつても良いですかね？食後の運動で痩せるかもしれません。）堂本（止める！お前が言つたら、震災問題位に事態が混乱する！）神崎（少なくとも、堂本さんも出ていく羽目になりますよね。）神崎は頭を痛めた。葉加瀬（まあ、運動をしても、運動後のマヨネーズの一気飲みで体脂肪はあがるんですけどね！ヨホホホホ！）ケイト（お前本当に死んでしまうぞ！やめろ！）神崎（ケイトさんに怒られて、よかったですね葉加瀬さん）ケイト（ポジティブに言う所では無いぞ！）堂本（それより、大変や！）ケイト（何？）堂本（海岸沿いに何故か知らんが、セイフの艦隊がおるぞ！）ケイト&神崎（な・何！）ケイト（見抜かれていたって事？）堂本（俺には分からん。何であいつ等が居場所を突き止めたのか・）神崎（もしかして、やはり嵐を起こすような能力者があの時、敵船に居て僕達が流れ着くのをあらかじめ知っていたんですよ！）堂本（とりあえず、彼奴達を俺が止めて来るから、葉加瀬屋とケイト屋と神崎屋は戦闘準備をしておけ！）ケイト（でも、船が無いわ。）葉加瀬（ヨホホホホ。ご心配なく！反対側の入り江の方にも、セイフの敵艦隊の船が一隻停泊していたので私達で斬ってきました。）ケイト（2人で？）堂本（俺等、何年芸能界にいとると思つてるねん。YUI屋や伊藤屋か？あれ？そいつらよりも長いねん。能力者やし、覇気があるわい。ほんなら止めて来るわ！）堂本は刀を抜いて、斬りあっているYUI達の下に向か

った。神崎（とりあえず、用意して。）神崎はしめたと思った。むろん、セイフの艦隊に連絡を付けたのはコイツで、堪坂経由でセイフには知らされていた。まあ、コイツ等にはまだ、死んでほしく無いが、死んだら死んだで良いか・神崎は少し笑みを浮かべた。YUI（死ね！）ジャック（本当にしつこいな！）伊藤（お互い様だ俺が生き残る！）3人（うおー！）覇気の剣がぶつかりあったが、薄い空間がYUI達を包んだ。3人（何だ？）すると、堂本は3人の隙を突いて弾いた。伊藤（誰だ怒！）堂本は刀を鞘に収めて、座り込んで言った。堂本（伊藤屋・お前は人を此れまで何人殺したんや？）堂本は笑みを浮かべながら伊藤を見た。伊藤（堂本剛・噂には聞いてるぞ。強さも相当だな・）堂本（今度、お前とも勝負したいのう。）伊藤（何時かな・）伊藤はサーベルを収めた。海賊（伊藤さん良いのですか？）伊藤（場が悪い、引き上げるぞ！）堂本（YUI屋、ジャック屋、お前等も刀を収める。）ジャック（うわ。物凄い覇気と能力者だな。逆らうの止めよう。）ジャックも刀を収め、YUIも収めた。YUI（堂本さん。）堂本（YUI屋・話は聞いてたやる。敵の船をかつぱらったから急ぐぞ！）YUI（分かった！）ジャック（俺も連れて行ってくれ役に立つし、やばい奴を相手にするんだったら金も少し宮殿から盗んだし、それで途中仲間を集めようや。）堂本（ついて来い。長芋よりは役にたつは。）ジャック（ありがとう。しかし、あれ？黄金のインゴットが無い！）置いていたインゴットが消えていた。YUI（何処に置いたのよ！）ジャック（何でだよ？）すると叫び声を上げながら、インゴットを持ってきた菅が走ってきた。菅（助けてくれ！）YUI（長芋どうした！）菅（俺様がセイフ様に、一人だけ助かるうとお前等が斬り合いをしている最中にインゴットを持って行こうとしたら、先住民に見つかって追いかけているんだ叫！）YUI（お前は自分勝手に、鈍臭いな怒！）YUIは拳で菅の頭を殴った。神崎（やばい・見つかつた！）先住民達に見つかつた。民（居たぞ！殺せ！）YUI（に・逃げる叫！）菅（お・俺様も置いていくな叫！）

菅は転んでしまい、ズボンが破けた。菅（うわー！俺様のパンツが見えてしまう叫！）菅のガラパンが見えてしまい、絵柄はワンピースのチョツパーの絵が描いていた。神崎（オイアホ！俺がおぶるからつかまれ！）菅（すまんな・神崎泣。）しかし、先住民の放った弓矢の矢が、菅の尻を貫いた。菅（痛たか〜ん叫！か・神崎！走れ！）神崎は思った。コイツを盾にして使い捨て、俺だけが助ければ良いか・神崎は走りながら満面の笑みを浮かべた。先住民達（きゃっほーい！待て！）YUI（ハアハア。来るな叫！）堂本（皆！海岸まで走れ！）続

もしもYUIが悪と闘ったら（後書き）

感想をお願いします。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5032t/>

---

YUIが悪と闘ったら16

2011年5月23日18時55分発行